

# 旧市民球場跡地活用の検討の進め方及び評価の視点

委員会の開催状況	議論の進め方
平成23年度	<p><b>第1段階</b></p> <p><b>1 球場跡地に関する課題等の共有化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 都心の現状、課題の確認</li> <li>○ 検討条件の確認</li> </ul> <p><b>2 跡地活用のアイデア出し</b></p>
	<p><b>第2段階</b></p> <p><b>3 アイデアを長期的な視点、まちづくりの視点から分類、整理</b></p> <p>必要に応じ検討グループを設置し、効果や課題等を検証（検証結果を委員会へ報告）</p>
	<p><b>4 分類、整理した結果を踏まえ、各アイデアを比較考量</b></p>
	<p><b>第3段階</b></p> <p><b>5 各アイデアについての実現可能性の考察、評価</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第2段階の結果を踏まえ、各アイデアについての実現可能性や課題等の考察、評価</li> <li>○ 周辺地域との回遊性向上策案について議論</li> </ul>
	<p>評価の視点</p>

## 前提(跡地の特性、特徴などを踏まえているか)

### 跡地の特性、特徴

- 1 広島城築城以来、戦後復興に至るまで、広島市の都市としての歴史を象徴してきた場
- 2 世界文化遺産「原爆ドーム」に近接し、国内外の多くの人々にアピールできる、広島市を代表する場
- 3 東西の都心の核の一つである紙屋町・八丁堀地区にあり、公共交通機関の結節拠点に隣接している場
- 4 平和記念公園や基町環境護岸と近接し、中央公園の一角にある、市民、県民に日常的に利用されている憩いや交流の場

### コンセプト

若者を中心としたにぎわいのための場  
(長期的な視点・まちづくりの視点)

### テーマとなる考え方

広島市の個性を生かし、魅力を高める未来志向の場として活用

## 適格性(跡地にふさわしいものか)

### 1 広島市の都市像「国際平和文化都市」の実現に寄与すること

- (1) 国際、平和、文化のいずれかの機能を強化するものであるか
- (2) 広島市の中枢性、拠点性の向上につながるものであるか

### 2 都市全体での都市機能の分担が考慮されていること

- (1) 都心にふさわしい機能であるか
- (2) 西飛行場跡地や広島大学本部跡地、二葉の里地区など市内の大規模未利用地での分担の可能性はどうか

### 3 良好的な都市景観の形成につながること

- (1) 原爆ドームの存在を生かしているか
- (2) 周辺地域の景観に寄与するか
- (3) 平和大通りに直交する丹下健三の都市軸を生かしているか

### 4 広島市の歴史、特性との関連性を持たせること

- (1) 広島市の歴史を踏まえているか
- (2) 広島市の特性を生かしているか

## 効果(広島市の活性化等に資するか)

### 1 にぎわいの創出につながること

- (1) 休日だけでなく常時のにぎわいを創出できるものか
- (2) 子どもや家族、多様な世代が利用できるか

### 2 国内外からの集客が見込まれること

- (1) 国内からの集客が見込まれるか
- (2) 海外からの集客が見込まれるか

### 3 周辺地域との連携による相乗効果が期待できること

- (1) 中央公園の既存施設との連携を図ることができるか
- (2) 地下街シャレオなど周辺地域との連携を図ることができるか
- (3) もう一つの都心の核である広島駅周辺地区との連携を図ることができるか

### 4 将来の社会環境の変化に対応するものであること

- (1) 少子高齢化の進展や人口の減少などに対応したものであるか
- (2) 将来において価値が陳腐化しないか

## 実現可能性

- (1) 事業主体、事業費は明確になっているか
- (2) 事業内容、事業手法は実現可能性があるか
- (3) 財源を確保できる見込みはあるか
- (4) 期待する効果が得られる見込みはあるか